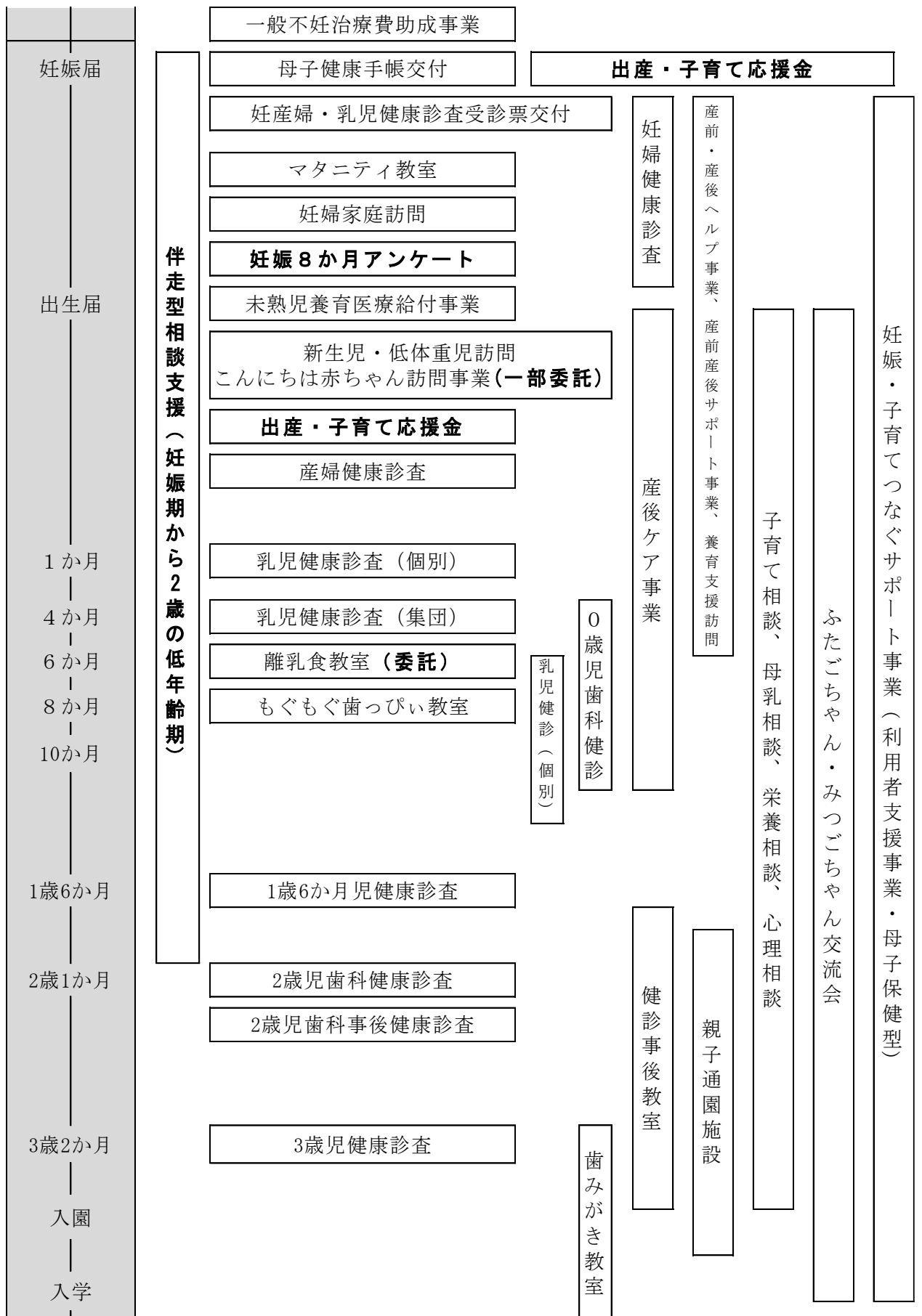


1 母子保健事業体系図



2 母子保健事業

近年の少子化、核家族化、女性の社会進出等に伴い、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進が求められています。

本市では、妊産婦及び乳幼児健康診査、マタニティ教室や離乳食教室等の各種教室の他、産後も安心して子育てができる支援体制としての「産後ケア事業」や保健師・助産師・子育て経験者等による相談支援等を行い、妊産婦の孤立感を解消し、家事・育児援助を行う「産前・産後ヘルプ事業」を実施しました。

また、令和5年4月1日からのこども家庭庁設置に向けた国の子育て支援策の一つとして、令和5年1月から、全ての妊婦及び0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象とした伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業が開始されました。

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度
				最終実績(人)
1	母子健康手帳交付	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳児健診の受診票の利用方法、保健事業の案内、妊娠届出時アンケートの実施、相談	590 (双子6)
2	妊娠・子育て つなぐサポート事業 (利用者支援事業 母子保健型)	随時	妊娠期及び子育て期における母子保健や育児に関する相談	584
		随時	妊産婦や母子が利用できる母子保健サービス等の選定及び情報提供	584
		随時	妊産婦を対象とした支援プラン策定	205
		15回	要支援検討会	206
		3回	子育て支援連絡会議	
3	出産・子育て 応援金支給事業 (出産応援金)	令和5年 1月から	妊娠・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう面談等による支援(伴走型相談支援)とともに、子育て支援サービスの利用負担軽減(経済的支援)を一体的に行う 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに妊娠届出した方に出産応援金50,000円を支給	遡及分 R4.4.1~ R4.12.31 出生若しくは 妊娠届出者 761 R5.1.4~3.31 妊娠届出者 149
4	産前・産後 ヘルプ事業 (家事・育児援助)	随時	産前・産後(12週まで)に体調不良等のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯に支援者が訪問	5 (57時間)
5	産前・産後 サポート事業	随時	助産師による訪問(母乳相談等)	21 (実20)
6	産後ケア事業	随時	保健指導を必要とする産後1年未満の母親とその乳児が一定期間、医療機関に入院し、母体の管理及び生活指導、乳房管理、沐浴や授乳等の育児相談を実施 利用期間7日(上限)	2 (5日)

NO	事業名		実施時期 ・回数	事業内容	令和4年度	
					最終実績(人)	
7	妊産婦乳児 健康診査	妊婦	1人15回	医療機関において実施する妊婦の健康診査(14回)、子宮がん検診(1回)、産婦健康診査、乳児の健康診査の費用を助成	県内	7,519
		産婦	1人1回		県外	212
		乳児	1人2回		県内	555
					県外	36
8	乳児健康診査		32回	生後3~4か月児を対象に予診、身体計測、医師の診察、母乳相談	県内	1,003
					県外	31
9	1歳6か月児健康診査		30回	予診、身体計測、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	616/618	99.6%
10	3歳児健康診査		31回	予診、身体計測、検尿、視力・聴力検査、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	679/696	97.6%
11	マタニティ教室		23回	一般編11回(お産について・沐浴・お父さんの妊婦体験・交流会) 歯科編12回(歯科医師の診察・講話)	719/726	99.0%
12	離乳食教室		20回	栄養士による離乳食前期・中期の話、交流会 委託	215	一般171 歯44
13	ふたごちゃんみつごちゃん交流会		3回	多胎児の母親及び妊娠中の妊婦交流会・親子遊びなど	135	
14	子育て相談		48回	全年齢を対象に身体計測と保健師による個別相談	19	
15	栄養相談		48回	全年齢を対象に栄養士による離乳食や偏食等についての栄養指導	847	
16	母乳相談		48回	産婦を対象に助産師による母乳相談及び授乳指導	227	
17	心理相談		28回	臨床心理士による子どもの発達に関する個別相談	122	
18	健診事後教室		60回	臨床心理士・保育士・保健師による遊びを通しての児の発達支援と母の育児支援	36	
19	家庭訪問		随時	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問)、未熟児、乳幼児健診未受診者・要フォロー児、妊産婦への支援、虐待予防のための訪問	妊婦	15
					乳児(乳児家庭全戸訪問含む)	668
					幼児	185
					その他	586
20	一般不妊治療費助成事業		随時	不妊治療を受けている夫婦に対し、ホルモン療法等の一般不妊治療費に要した本人負担額の1/2(50,000円上限)を助成	42	
21	未熟児養育医療給付事業		随時	入院医療を必要とする未熟児の保護者に対し養育医療費を給付	19	

3 母子保健事業詳細

(1) 妊娠・子育てつなぐサポート事業（子育て世代包括支援センター）

子育て家庭や妊産婦が、子育て支援事業や教育・保育施設、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行なうとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行うもので、あま市ではこの事業を平成29年度から開始しています。

・利用者支援事業 《母子保健型》

保健センターでは、妊娠の届出時の面談等で得た情報を基に、保健師による、妊娠・出産・育児に関する相談への対応と支援プランを作成し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を構築しています。

また、妊娠届出時の面談等により得た情報を基にスクリーニングした妊婦に関しては、保健センターで開催する要支援検討会（定期開催）において、支援方針及び進捗状況の協議を行っています。

ア 母子健康手帳交付

母子健康手帳を交付することで、妊婦の自覚を高め、妊婦自らが健康管理できるよう支援しています。また、同時に妊婦アンケートを行うことにより、妊婦の心身の健康状態を確認し、支援のニーズの有無を把握しています。

交付場所：甚目寺・七宝・美和保健センター

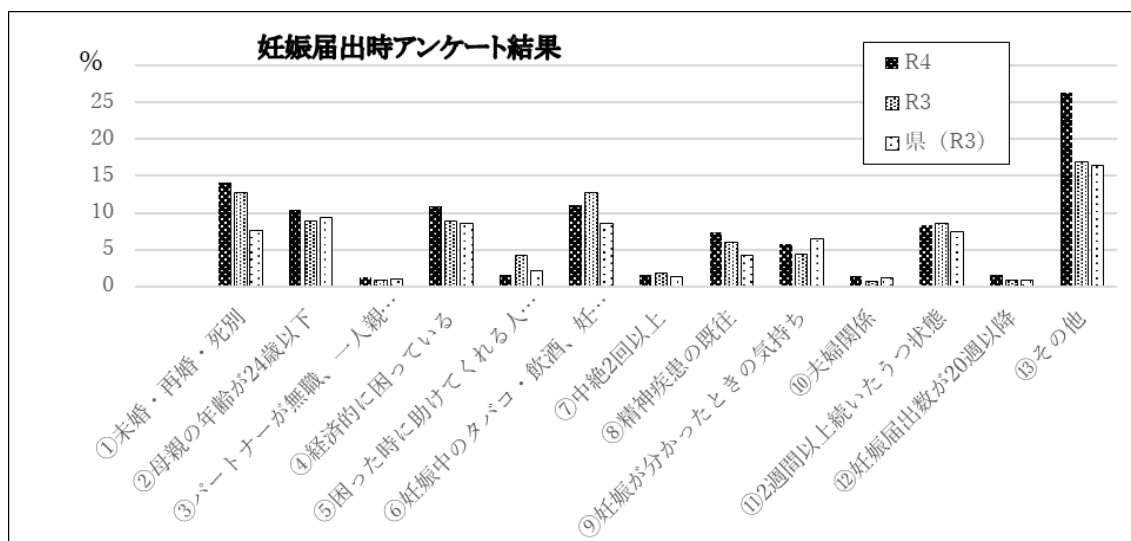
(単位：人)

区分 年度	母子健康 手帳 交付数	妊娠 届出数	届出時の妊娠週数					
			満11週 以内	満12～ 19週	満20～ 27週	満28週 以上	分娩後	不詳
平成30年	671	664	612(92.2)	41(6.2)	7(1.1)	3(0.5)	0(0.0)	1(0.2)
令和元年	733	725	689(95.0)	25(3.4)	4(0.6)	5(0.7)	2(0.3)	0(0.0)
令和2年	672	660	637(96.5)	17(2.6)	4(0.6)	0(0.0)	1(0.2)	1(0.2)
令和3年	623	615	593(96.4)	15(2.4)	3(0.5)	1(0.2)	1(0.2)	2(0.3)
令和4年	590	584	555(95.0)	20(3.4)	6(1.0)	2(0.3)	0(0.0)	1(0.2)
区分 年度	母の年齢		就業 あり	喫煙 あり	飲酒 あり	双胎	再交付	
	20歳未満	40歳以上						
平成30年	12(1.8)	32(4.8)	418(63.0)	27(4.1)	1(0.2)	7(1.1)	22	
令和元年	4(0.6)	15(2.1)	465(64.1)	21(2.9)	4(0.6)	6(0.8)	16	
令和2年	6(0.9)	23(3.5)	429(65.0)	15(2.3)	1(0.2)	12(1.8)	17	
令和3年	3(0.5)	25(4.1)	449(73.0)	13(2.1)	2(0.3)	8(1.3)	17	
令和4年	4(0.7)	20(3.4)	420(71.9)	8(1.4)	0(0.0)	6(1.0)	19	

※ () 内は届出数と比較した割合 (%)

妊娠届出時のアンケート結果

項目	令和4年度		令和3年度		県(令和4年度)率(%)
	人	率(%)	人	率(%)	
①未婚・再婚・死別	79	13.5	78	12.7	7.6
②母親の年齢が24歳以下	57	9.8	55	8.9	9.1
③パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職	7	1.2	5	0.8	2.2
④経済的に困っている	68	11.6	55	8.9	9.5
⑤困った時に助けてくれる人がいない	11	1.9	26	4.2	2.1
⑥妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	64	11.0	79	12.8	7.9
⑦中絶2回以上	8	1.4	11	1.8	1.1
⑧精神疾患の既往	42	7.2	37	6.0	4.6
⑨妊娠が分かったときの気持ち	38	6.5	27	4.4	6.5
⑩夫婦関係	8	1.4	4	0.7	1.2
⑪2週間以上続いたうつ状態	45	7.7	52	8.5	7.4
⑫妊娠届出数が20週以降	8	1.4	5	0.8	0.7
⑬その他	146	25.0	104	16.9	19.0
妊娠届出数	584		615		



イ 要支援検討会 協議件数 (単位：人)

年度	区分	検討会(回)	妊娠届出数(件)	検討数(件)		検討結果(件)				
				新規	継続者	ハイリスク妊婦レベル0	要支援妊婦			特定妊婦レベル4
							レベル1	レベル2	レベル3	
令和元年		15	725	207 (28.6)	61	22 (3.0)	34 (4.7)	142 (19.6)	1 (0.1)	5 (0.7)
令和2年		16	660	190 (28.8)	30	25 (3.8)	22 (3.3)	133 (20.2)	0 (0.0)	7 (1.1)
令和3年		16	615	159 (25.9)	8	16 (2.6)	13 (2.1)	120 (19.5)	0 (0.0)	8 (1.3)
令和4年		15	584	206 (33.5)	7	8 (1.3)	13 (2.1)	167 (27.2)	3 (0.5)	11 (1.8)

参加機関：保健センター、子育てコンシェルジュ、家庭児童相談員

※ () 内は妊娠届出数と比較した割合 (%)

(2) 伴走型相談支援

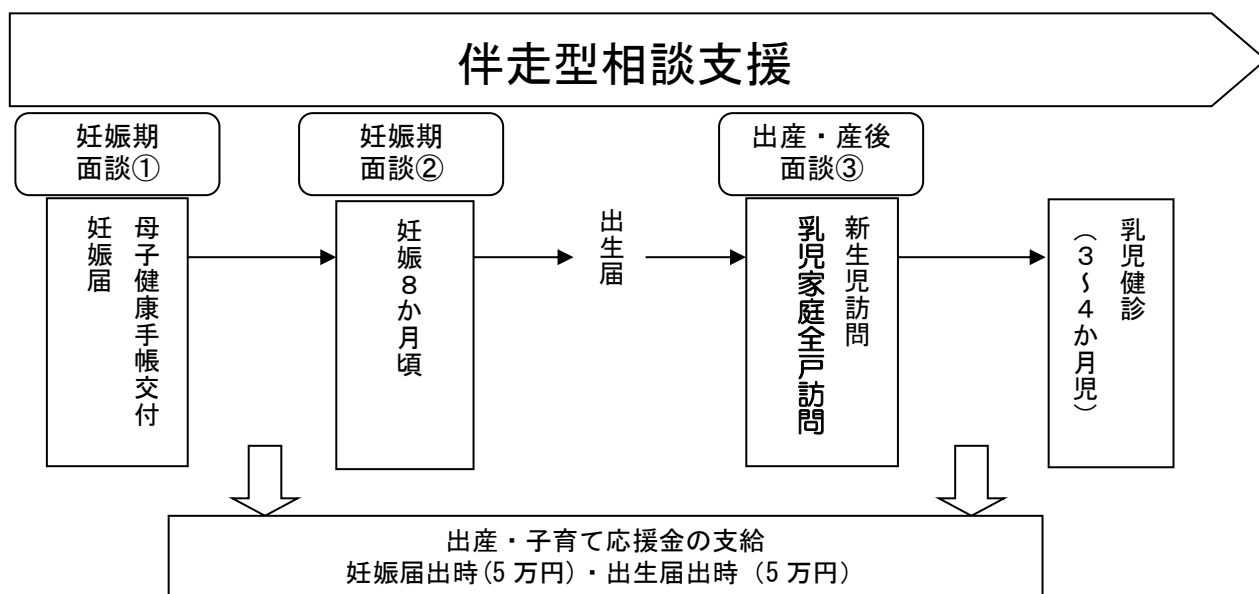
※伴走型相談支援とは

孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくないことから、すべての妊婦・子育て家庭にアンケート及び面談により、相談に応じ、必要な情報提供を行い、サービスにつなぐ支援を行う事業です。

保健センターでは、妊娠届出時の面談と乳児家庭訪問での面談を実施しており、支援が必要な方には、継続的にフォローしています。令和5年1月1日からは、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業が実施されることとなり、妊娠8か月頃にもアンケートを送付し、面談を希望される方には面談を実施しています。

また、妊娠届出時と生後4か月頃までに面談を受けると、あま市出産・子育て応援金支給事業実施要領（あま市告示第168号）の規定に基づき、出産・子育て応援金の支給が追加されました。

妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる伴走型相談支援を通じて、本人の同意のもと関係機関とも共有することで、これまで以上に効果的な支援を実施しています。



(3) 産前産後の支援事業

ア 産前・産後ヘルプ事業

平成30年度からNPO法人ママ・ぷらすに委託し、日中に家族等から支援を受けることができず、妊娠・出産による体調不良等により家事または育児について援助が必要な妊娠中または産後12週以内、ただし、多胎児の場合は産後24週以内の産婦に対し、育児不安や負担を軽減するため、支援者が自宅を訪問し家事や育児の援助を行っています。

区分 年度	利用人数(人)	利用時間	備考
平成30年	5	15	研修会
令和元年	6	15	研修会
令和2年	0	0	
令和3年	9	116	
令和4年	5	57	

イ 産前・産後サポート事業

平成30年度から助産師が妊産婦の妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、家庭訪問により相談を行なっています。

区分 年度	実人数(人)	延人数(人)
平成30年	11	13
令和元年	22	22
令和2年	16	16
令和3年	16	16
令和4年	20	21

ウ 産後ケア事業

平成30年度から2か所の産科医療機関への委託により宿泊型・デイサービス型の区分で実施しています。

利用者負担は、宿泊型が1泊あたり7,000円、デイサービス型が1日あたり3,500円であり、生活保護世帯又は市町村民税が非課税である世帯は無料となります。

区分 年度	委託医療機関数		申請者数 (人)	利用実績(件数)	
		医療機関名			利用区分(件数)
平成30年	2	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック	2	2	4泊5日(1)、6泊7日(1)
令和元年	2	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック	5	5	3泊4日(1)、5泊6日(1)、 6泊7日(3)
令和2年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	8	4	2泊3日(1)、3泊4日(1)、 5泊6日(1)、6泊7日(1)
令和3年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	6	6	1泊2日(1)、3泊4日(1)、 5泊6日(1)、6泊7日(3)
令和4年	4	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科	2	2	1泊2日(1)、2泊3日(1)

(4) 妊産婦・乳児健康診査（医療機関委託）

妊産婦及び乳児の健康診査並びに妊婦のHBs抗原検査及び梅毒血清反応検査（STS）に要した費用を助成することで、妊産婦及び乳児の健康の保持・増進、異常の早期発見・早期治療並びにB型肝炎の母子感染を防止し、結果をもとに医療機関と連携しています。

ア 妊産婦健診

（単位：人）

区分 回数	受診者数	県外受診 (再掲)	異常なし	所見あり	HBs抗体 (+)
第1回	582	2	543	37	2
第2回	578	3	561	17	
第3回	567	4	557	10	
第4回	573	1	553	20	
第5回	563	4	524	39	
第6回	555	5	512	43	
第7回	528	9	487	41	
第8回	553	5	423	130	
第9回	536	25	507	29	
第10回	547	37	489	58	
第11回	474	30	452	22	
第12回	521	36	412	109	
第13回	373	30	362	11	
第14回	223	19	218	5	
子宮頸がん	558	2	549	9	
産後	591	36	566	25	

イ 乳児健診

（単位：人）

区分 月齢	受診者数	受診結果						
		異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲)要医療		要精密 検査
						精神面	身体面	
1～2 か月	594	566	6	11	11	0	11	0
3～5 か月	0	0	0	0	0	0	0	0
6～8 か月	52	44	2	5	1	0	1	0
9～12 か月	388	327	7	45	9	0	9	0

ウ 年度別受診者数（全体）

（単位：人）

回数 年度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
	平成30年	653	635	625	635	630	621	623	669
令和元年	722	693	690	682	673	659	628	687	606
令和2年	656	649	648	663	662	640	633	674	640
令和3年	603	608	607	612	611	611	613	652	619
令和4年	582	578	567	573	563	555	528	553	536
回数 年度	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	子宮頸がん	乳児健診		産婦
							第1回	第2回	
平成30年	651	575	609	455	287	623	657	479	642
令和元年	644	547	630	410	265	686	676	418	668
令和2年	662	572	630	437	273	627	657	466	660
令和3年	654	567	624	424	285	577	683	447	673
令和4年	547	474	521	373	223	558	594	440	591

エ 年度別受診者数（県外助成）

（単位：人）

回数 年度	申請者数	助成枚数 (枚)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	平成30年	60	408	4	3	8	8	8	14	17
令和元年	70	473	9	12	13	12	12	12	18	16
令和2年	64	464	9	10	10	12	16	16	19	18
令和3年	53	329	4	6	4	4	9	10	15	10
令和4年	47	279	2	3	4	1	4	5	9	5
回数 年度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	子宮頸がん	乳児健診		産婦
								第1回	第2回	
平成30年	29	48	40	51	38	28	4	47	0	50
令和元年	33	52	48	51	37	26	6	57	0	59
令和2年	34	52	46	50	40	28	8	47	1	48
令和3年	30	35	35	34	27	22	2	40	0	42
令和4年	25	37	30	36	30	19	2	30	1	36

(5) 乳幼児健康診査

乳児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診（歯科保健事業に記載）及び3歳児健診を実施することにより、乳幼児の健全な発育の確認及び育児支援を行っています。

ア 乳児健康診査

生後3～4か月児を対象に発育・栄養状態の確認、先天的な病気の有無・早期発見に努めるとともに、育児に対する不安や悩みの解消を図ります。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	対象 者数	受診 者数 受診率	一 般 健 康 診 査								
				受 診 結 果						(再掲)要医療		要精密 検査
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	精神面	身体面			
平成30年	46	719	708 98.5%	529 (74.7)	65 (9.2)	84 (11.9)	22 (3.1)	0 (0.0)	22 (3.1)	8 (1.1)		
令和元年	43	633	619 97.8%	467 (75.4)	43 (6.9)	83 (13.4)	18 (2.9)	0 (0.0)	18 (2.9)	8 (1.3)		
令和2年	38	754	719 95.4%	551 (76.6)	65 (9.0)	85 (11.8)	15 (2.1)	0 (0.0)	15 (2.1)	3 (0.4)		
令和3年	38	692	681 98.4%	519 (76.2)	59 (8.7)	82 (12.0)	15 (2.2)	0 (0.0)	15 (2.2)	6 (0.9)		
令和4年	32	618	616 99.7%	461 (74.8)	51 (8.3)	71 (11.5)	14 (2.3)	0 (0.0)	14 (2.3)	19 (3.1)		

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲)要医療	
					精神面	身体面
平成30年	7	4	1	2	0	2
令和元年	8	4	3	1	0	1
令和2年	0	0	0	0	0	0
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	12	10	2	0	0	0

イ 1歳6か月児健康診査

運動機能・精神発達の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、むし歯の予防、幼児の栄養及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対 象 者 数	受 診 者 数 受 診 率	受 診 結 果						
				異 常 な し	既 医 療	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療		要 精 密 検 査
				精 神 面	身 体 面					
平成30年	32	698	683 97.9%	597 (87.4)	35 (5.1)	31 (4.5)	7 (1.0)	0 (0.0)	7 (1.0)	13 (1.9)
令和元年	32	697	685 98.3%	624 (91.1)	16 (2.3)	34 (5.0)	6 (0.9)	0 (0.0)	6 (0.9)	5 (0.7)
令和2年	29	718	697 97.1%	612 (87.8)	25 (3.6)	46 (6.6)	8 (1.1)	0 (0.0)	8 (1.1)	6 (0.9)
令和3年	33	789	790 100.1%	705 (89.2)	37 (4.7)	31 (3.9)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	7 (0.9)
令和4年	30	696	679 97.6%	589 (86.7)	37 (5.4)	29 (4.3)	17 (2.5)	0 (0.0)	17 (2.5)	7 (1.0)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受 診 者 数	異 常 な し	要 観 察	要 医 療	(再掲) 要医療	
					精 神 面	身 体 面
平成30年	9	2	4	3	0	3
令和元年	2	0	1	1	0	1
令和2年	3	1	0	2	0	2
令和3年	3	0	2	1	0	1
令和4年	3	0	1	2	0	2

ウ 3歳児健康診査

視覚・聴覚・運動・発達等の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、発育・栄養・生活習慣及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療		要精密 検査
				精神面	身体面					
平成30年	36	754	736 97.6%	515 (70.0)	18 (2.4)	128 (17.4)	4 (0.5)	0 (0.0)	4 (0.5)	71 (9.6)
令和元年	32	704	679 96.4%	486 (71.6)	17 (2.5)	104 (15.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.3)	70 (10.3)
令和2年	31	717	698 97.4%	524 (75.1)	9 (1.3)	85 (12.2)	5 (0.7)	0 (0.0)	5 (0.7)	75 (10.7)
令和3年	33	780	761 97.6%	631 (82.9)	38 (5.0)	36 (4.7)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	46 (6.0)
令和4年	31	726	719 99.0%	624 (86.8)	22 (3.1)	18 (2.5)	3 (0.4)	0 (0.0)	3 (0.4)	52 (7.2)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
平成30年	33	23	8	2	0	2
令和元年	23	12	5	6	1	5
令和2年	16	4	11	1	0	1
令和3年	3	3	0	0	0	0
令和4年	10	8	0	2	0	2

乳幼児健診は、すべてのお子さんを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

健診未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられます。また、令和4年度健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子育て支援課や保育園等に連絡を取り、児の安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。

令和4年度健診アンケート

問 この数か月の間にご家庭で次のことがありましたか(複数回答)	乳児健診 (生後3～4か月)			1歳6か月児健診			3歳児健診		
	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)	あま市		県 率 (%)
	数	率 (%)		数	率 (%)		数	率 (%)	
しつけのし過ぎがあった	4	0.7	0.4	12	1.8	1.4	18	2.5	3.5
感情的に叩いた	3	0.5	0.6	15	2.3	3.0	32	4.4	4.9
乳幼児だけを家に残して外出した	3	0.5	0.6	5	0.8	0.5	2	0.3	0.5
長時間食事を与えなかった	4	0.7	0.1	0	0	0.1	2	0.3	0.1
感情的な言葉で怒鳴った	28	4.6	4.0	118	18.0	14.2	201	27.6	27.2
子どもの口をふさいだ	1	0.2	0.2	1	0.2	0.3			
子どもを激しく揺さぶった	1	0.2	0.1	4	0.6	0.1			
該当なし	569	92.8	93.8	504	76.5	81.7	474	65.0	69.2

(6) 健康教室・健康教育

離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室等の各種教室を行い、乳幼児の発育支援、保護者に対する助言を行っています。また、マタニティ教室では、パパを対象に妊婦体験、沐浴・おむつ交換を通して、出産後の赤ちゃんのイメージをつけ、育児への不安を解消し、前向きに子育てができるよう取り組んでいます。

ア マタニティ教室

(単位：人)

区分 年度	一 般 編					栄 養 編				
	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親	回数 (回)	参加 者数	再掲) 初産	再掲) 経産	再掲) 父親
平成 30 年	12	229	115	8	106	9	54	40	2	12
令和元年	11	214	101	13	100	8	50	34	4	12
令和 2 年	8	121	60	3	58	5	19	13	2	4
令和 3 年	9(1)	119	61	6	52	4	8	7	0	1
令和 4 年	11(1)	171	88	7	76					

※令和 3 年度からウェブでのマタニティ教室を実施
() 内はウェブでの実施回数を再掲

イ 離乳食教室

(単位：人)

区分 年度	対象者数	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導	託児
平成 30 年	722	288	39.9	0	199
令和元年	859	225	26.2	3	169
令和 2 年	730	82	11.2	0	48
令和 3 年	509	73	14.3	1	59
令和 4 年	700	135	19.3	0	125

※令和 4 年度から NPO 法人ママ・ぷらすに委託し、実施

ウ ふたごちゃん・みつごちゃん交流会

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者数	再掲) 妊婦	再掲) 産婦	再掲) 父親
平成 30 年	3	30	3	27	0
令和元年	3	25	4	21	0
令和 2 年	3	23	4	19	0
令和 3 年	3	21	4	17	0
令和 4 年	3	19	2	16	1

(7) 相談事業

乳幼児の発育を支援し、保護者に対して育児に関する不安を軽減できるよう、子育て相談、心理相談等を行っています。

ア 子育て相談

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者内訳					個別相談内訳				再掲)健診事後指導			
		乳児	再掲) 初	幼児	再掲) 初	計	保健	栄養	歯科	母乳	乳児		幼児	
											初	延	初	延
平成30年	48	1,350	392	1,324	214	2,674	623	429	108	231	151	203	53	110
令和元年	44	1,029	348	1,031	187	2,060	590	323	81	170	124	144	52	81
令和2年	32	469	212	393	144	862	226	141	64	91	53	59	5	5
令和3年	43	628	272	460	129	1,088	287	206	51	126	97	115	25	39
令和4年	48	847	298	617	124	1,464	466	227	71	122	128	155	13	20

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止（中止したが、実施予定日に子育て希望者が来所した場合は子育て相談を実施したため、実施回数・参加者に計上）

イ 心理相談（随時）

(単位：人)

区分 年度	相談対象者内訳							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	合計
平成30年	0	6	14	14	3	1	2	40
令和元年	0	3	10	11	3	3	2	32
令和2年	0	7	11	5	1	0	1	25
令和3年	0	10	13	18	2	7	3	53
令和4年	0	4	11	13	3	4	1	36

ウ 事後教室（まっっこ教室、つくしんぼ教室、たんぼぼ教室）

(単位：人)

区分 年度	まっっこ教室				つくしんぼ教室				たんぼぼ教室			
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ
平成30年	17	33	111	1	24	34	168	4	30	55	205	14
令和元年	14	22	82	5	16	19	94	2	27	55	182	10
令和2年	12	19	49	3	13	33	77	3	22	53	104	12
令和3年	9	16	48	2	19	38	94	10	19	42	99	9
令和4年	12	21	87	4	23	35	116	3	24	46	169	3
区分 年度	合計											
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ								
平成30年	71	122	484	19								
令和元年	57	96	358	17								
令和2年	47	105	230	18								
令和3年	47	96	241	21								
令和4年	59	102	372	10								

(8) 訪問事業

全ての乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結び付けます。

また、養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、養育に関する指導、助言を行うことにより、適切な養育の実施を確保します。

(単位：人)

年度	区分	長期療養児	乳児			幼児	妊婦	産婦	専門的相談支援
			新生児	未熟児	その他				
平成30年	実人数	0	29	51	592	168	10	635	64
	延人数	0	29	51	667	209	12	640	138
令和元年	実人数	0	69	56	563	152	13	652	22
	延人数	0	73	56	604	167	15	658	42
令和2年	実人数	0	39	57	564	130	18	621	33
	延人数	0	41	60	591	145	20	627	56
令和3年	実人数	1	52	30	650	185	16	684	28
	延人数	1	55	32	670	220	21	694	68
令和4年	実人数	0	34	33	540	134	10	572	36
	延人数	0	35	34	599	185	15	586	106

※令和4年度から一部の家庭訪問をNPO法人ママ・ぷらすに委託

(9) 一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦への一般不妊治療に要する費用の助成することで、経済的な負担の軽減を図り、少子化対策の充実を図ります。令和元年度に助成金額を4万5千円から5万円に増額し、令和3年度以降は所得制限も撤廃されました。

また、令和4年4月から不妊治療が保険適用となりましたが、市としては、保険適用となっても経済的な負担があると考え、一般不妊治療助成事業を引き続き実施しています。

(単位：人)

年度	区分	申請者数	助成件数	母子健康手帳交付数
平成30年		35	35	8
令和元年		48	46	12
令和2年		57	57	22
令和3年		74	74	15
令和4年		43	42	16

(10) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児(出生児の体重が2,000グラム以下等)が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を公費により負担する制度となります。

・年度別給付件数

区分 年度	申請者数 (人)	再掲) 双子	給付実件数 (人)	給付延件数 (人)
平成30年	19	2組	20	54
令和元年	31	0組	23	58
令和2年	27	1組	29	81
令和3年	22	3組	23	45
令和4年	19	1組	19	36

・年度別体重別給付件数

(単位：人)

区分 年度	1,000g 以下	1,000g 以上 1,500g 以下	1,501g 以上 1,800g 以下	1,801g 以上 2,000g 以下	2,001g 以上 2,300g 以下	2,301g 以上 2,500g 以下	2,501g 以上
平成30年	3	3	6	4	1	0	2
令和元年	5	2	5	5	0	0	4
令和2年	1	4	9	0	1	1	8
令和3年	0	1	3	7	3	0	7
令和4年	4	5	0	1	1	0	6

※新規給付者のみ

【参考】低出生体重児届出

区分 年度	届出数 (件)
平成30年	43
令和元年	54
令和2年	49
令和3年	40
令和4年	47